

## 道徳の時間の年間指導計画の作成はどうすればよいか。

道徳の年間指導計画の作成に関しては、「第2に示す各学年段階ごとの内容項目は相当する学年においてすべて取り上げること」と示した。

学年の指導方針の下、学級の指導計画も作成することが大切である。詳細は、学習指導要領解説の第4章の第4節「学級における指導計画」を参照

(「第3章道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の1)  
 (2) 道徳の時間の年間指導計画の作成に当たっては、道徳教育の全体計画に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、計画的、発展的に授業がなされるよう工夫すること。その際、第2に示す各学年段階ごとの内容項目について、児童や学校の実態に応じ、**2学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導を行うよう工夫すること。ただし、第2に示す各学年段階ごとの内容項目は相当する各学年においてすべて取り上げること。**なお、特に必要な場合には、他の学年段階の内容項目を加えることができること。

### 1 年間指導計画の内容

年間指導計画は、各学校で創意工夫をして作成するものであるが、年間指導計画作成の意義に基づいて、特に次の内容を明記しておくことが望まれる。

- 各学年の基本方針
- 各学年の年間にあたる指導の概要
  - ・ 指導の時期 ・ 主題名 ・ ねらい
  - ・ 資料 ・ 主題構成の理由
  - ・ 展開の大要及び指導の方法
  - ・ 他の教育活動等における道徳教育との関連
  - ・ その他

道徳の時間の指導の時期、主題名、ねらい及び資料を一覧にした配列表のみでは年間指導計画としては機能しにくい。そのような一覧表を示す場合においても、展開の概要等を含むものなど、各時間の指導の概要が分かるようなものを加えることが必要である。

例えば、校長や教頭等の参加、他の教師の協力的な指導の計画、保護者や地域の人々の参加・協力の計画、複数の時間を取り上げる内容項目の場合は各時間の相互の指導の関連などの構想を示すことが考えられる。

主題の性格、他の教育活動との関連、学校や社会の行事、季節的变化などに配慮

### 2 年間指導計画作成上の創意工夫と留意点

年間指導計画を活用しやすいものにし、指導の効果を高めるために、特に創意工夫し留意すべきこととして次のことがあげられる。

- (1) 年間授業時数を確保できるようにする
- (2) 主題の設定と配列を工夫する
- (3) 計画的、発展的指導ができるように工夫する
- (4) 内容の重点的指導ができるように工夫する
- (5) 各教科等、体験活動等との関連的指導を工夫する
- (6) 複数時間の関連を図った指導を取り入れる
- (7) 特に必要な場合には他学年段階の内容を加える
- (8) 計画の弾力的な取扱いについて配慮する
- (9) 年間指導計画の評価と改善を計画的に行うようにする

6年間を見通した計画的、発展的な指導(中学校の道徳との関連)

体験活動→集団宿泊学習、ボランティア活動、自然体験活動など

一般的には一主題は一単位時間扱い。しかし、主題や資料の内容等が深まり、複雑になる高学年の段階からは、主題や資料等の性格に基づき、工夫を図る。

全教師の共通理解の下、年間指導計画の評価と改善を行う。そのために、日常から実施上の課題を記入したり、検討するための資料を収集したりする。

特に必要な場合は、学校の特色や実態、課題などに応じて他学年段階の内容を加えることができる。